

生活創造空間

にし NISHI

～アンラシネを目指します～

第21号 2014年11月1日発行



屋上庭園檸檬で出来た落花生

メラは追っていきます。様々に感じたことが多い映画だったのではないのでしょうか。また時折上映していきます。（※公開用DVDとして購入しましたので 必要あれば貸出しますので申し出て下さい。）
抽選会でゆるきゃら・ぬいぐるみ勢揃いで大いに会場が盛り上がり終了となりました。昨年よりも来場者が多く楽しいフェスタになってきました。来年も今年踏まえていい「フェスタ」をみんなで創っていきます。本当にありがとうございました。

（生活創造空間にし 館長 渡辺幹夫）

第5回 西区第3地区

2014福祉フェスタが開催されました！

2014年10月4日 第5回福祉フェスタが開催されました。もう5回とは。第3地区の懇談会に出席させて頂いたのが5年前。町内会長とともに共に地域で働く福祉関係者が多いと感じたあの日。それならこの第3地区で福祉施設長会議をやろうと。そしてここから福祉フェスタが生まれていきました。生活支援センター西/さらい工房/みらい工房西/ゆめづくり三番館/自然食品 菜月/つむぎ子ども教室/横浜市藤棚地域ケアプラザ/エヌ・クラブ/ガッツ・ビーと西の9団体と2年前から第3地区懇談会メンバーが加わって少しずつ質量ともに大きくなってきました。コンセプトは「福祉からの地域発信」。毎月実行委員会が開かれ今年度も出来上がっていきました。昨年の障がいある方々の音楽発信①横浜国大付属和太鼓同好会②無限音工房③おどるなつこ（タップ）④音のりぼん（演奏と合唱）⑤あすなろ（朗読）の昨年までのメンバーに加え高齢者の方々による⑥藤棚茶房+ドルチェ（合唱）が新たに参加しました。それぞれ当事者から発信される「音・言葉の調べ」は多くの人々の胸をうちました。ゆっくりゆっくりこの小さな言葉・音がもっともっと大きくなりますように。そんな思いもあるフェスタでもあります。午後には5階食堂において映画会。今年は～東日本大震災と障害者「逃げ遅れる人々」～が上映されました。

障がいがあることでより困難に出会う。そんな思いをていねいにカ



「つなぐ架け橋 ～私たちができること～」

から見たこと

(第3回西区地域自立支援協議会シンポジウムを終えて)

9月19日(金)に生活創造空間にし5階食堂にて、第3回西区地域自立支援協議会シンポジウムが行われました。第1回は「一緒に夢をかなえよう」と題して、主に西区で活躍される支援者に西区地域自立支援協議会での取り組みについて報告し、協議会メンバーをシンポジストに迎えて行いました。第2回は「つながる」をテーマに協議会の中で活躍されている方々に自分の大切にしている関わり方についてお話しいただきました。そして第3回。今年は、民生委員の方々とつながりたいという思いから、西区内にある事業所が地域とつながって取り組んでいる活動の報告といくつかの小グループに分かれてのグループディスカッションを行い、民生委員の方々と「つながる」機会を作りました。民生委員の方々の声をほんの一部ですがご紹介いたします。

- それぞれの立場で活動している方々との少人数でのグループワークが良かった。グループワーク時に障害のある人たちの為に地域でできることを話し合っただけで皆さんの気持ちを理解できました。地域の力を信じて行きたいと思いました。
- これからどのような事に目を向けて行けばいいのかが、少しだけ見えてきたと思います。新任の民生委員さんに少しでも理解していってもらうように研修会等を開催していきたい。
- 何ができるかでなくて、共にさせて頂ける自分になりたいと思いました。分かりづらいこと事ばかりでしたが、お話し聞けたことがとても良かったです。当たり前前事を当たり前前にふれあいをしたいと心から思いました。
- 施設の方々の地域に対する関わりに関する意識がそれほどないという事を伺った。ただ、地域としても障害のある方、施設とのつながりがそれほどつよいわけではなく、難しさも感じている。そのことは、これからそのつながりを強めていく可能性が沢山あるという事を意味すると思い、やりがいを感じた。
- スタッフの皆様は結構ユーモアがあるんですね。良かったです。多くの施設があり、多くのスタッフが障害者を支えていることが解りました。一人でも多くの障がい者が自立できるよう願っております。
- このような研修を計画的に受けたいと思いました。
- いろいろな施設を良く知ること、その施設で行っているイベント等に出来るだけ参加していくよう、民生委員の方々に伝えていきたいので、この協議会さんとの協力体制をつなげていきたいと思ひます。
- これからも度々行って頂きたいのと、関わっていた方の担当の方とお話しできたので良かったと思ひます。ありがとうございました。

感想の中でもあります、この「つながり」は1回で終わらせることなく、絶対に続けていきます！せっかく創ったきっかけですので、各地区でこのようなディスカッションの花が開けるよう、これからも仕掛けていきます！！今後の動向に期待してください。



(うさ男)

「障害者権利条約」を学ぶ！！②

エヌ・クラブ 長瀬 宗

毎年、今学びたい一つのテーマを定め、一年を通じて様々な視点・切り口から徹底的に学ぶ“生活創造空間にし研修”。今年度は障害者権利条約をそのテーマにし、現在4回目まで行われています。

第3回目は帝京科学大学の滝坂信一先生にご登壇いただき、『「すべての人にとっての地域社会」を創造する』こと、そして「障害者の権利条約」とインクルージョン～今、私たちの社会が求められている転機：学校教育を軸に～というテーマのもと、参加者の皆さんと一緒に学ぶことができました。以下、参加者のアンケートの感想を抜粋し、紹介します。

○インクルーシブ＝特別支援教育の強化ではという指摘に納得のいく思いがしました。小・中学校で本当のインクルーシブ教育に取り込まれるように地域で障害児者の姿がもっと見えるよう頑張らなければと思います。(障がい者支援センター職員 男性)

○「条約はスタートラインにすぎない」と言っていたのが印象的でした。インクルーシブな社会を作るためには、ひとりひとりが考え、実現に向かって実行することが重要だと再認識しました。(障がい福祉施設職員 男性)

○学校でも色々な場面で「インクルージョン」が叫ばれています。まずは理解を深め、理解したことを他教員へ伝えていかなければならないと感じました。(特別支援学校教員 男性)

第4回目は「今、私が思っていること・感じていること」をテーマとして、当事者の方やご家族の方をお招きして、お話しいただきました。4名の方にお話しいただきましたが、それぞれの方の体験や経験は障がい者の方やご家族と接していく上で、向き合っていくことの大切さを学ぶことができました。以下、参加者のアンケートの感想を抜粋し、紹介します。

○「スタッフの過干渉が当事者の成長の機会を減らす」と「親や先生から言われてことをやるのは介護」という言葉が心に残りました。(障がい者福祉施設職員 女性)

○悩みや障害・現状を受け入れてから向き合って、前に進んでいられると感じました。

また周りの環境に日々感謝されていることが印象的でした。(相談員 女性)

○人と人が向き合っていくのに必要なことは、心であることを改めて感じました。(障がい者施設職員 女性)

○共に暮らしていくために必要なことは何なのか、ということについて、知り・考えるきっかけになったと思います。(市職員 男性)

各回を通じて、私たちは障害の有無にかかわらず、誰もが地域の学校で学ぶことができ、お互いが対等な立場で尊重し合い、向き合って生きていくというのが大切だと感じました。

“生活創造空間にし研修”も残すところあと1回となりました。第5回は11月17日(月) 講師：茨木 尚子氏(明治学院大学)に講義していただきます。参加はどなたでも結構です。奮ってご参加ください。

“檸檬”を利用して 『生活支援センター西』

5月から生活創造空間にしの“檸檬”をお借りしている『生活支援センター西』です。

6月頃に、センターの利用者さんたちと草むしり、土の耕しから始め、トマトやキュウリ、二十日大根、日日草を植えました。

今は週3回、水やり日を儲けて皆さんと檸檬に行き、その度観察記録をつけてもらっています。

その中には、「久しぶりに土に接して、草に水やりして、昔を思いだして懐かしく楽しかったです」「食べられるものを植えているから、元気に育って夕食会で出してくれたら、夕食会に花が咲くような気がして、楽しみ。一つ一つに愛情が湧き、頑張るぞ！と意欲が湧いてきます。」「猛暑でかなり暑かったけど、出来て良かったです。」「物事への興味が多くなってきました」「日日草、いつも癒してくれてありがとう」などなど、様々な感想が書かれていて、見ているだけでも楽しいです！

生活支援センターは心の病を持つ方が利用する施設です。なかなか楽しみを持ってなかったり、外に出られなかったり、何かに喜んだりする機会が少ない方が多くいます。でも檸檬でのガーデニングを通して、土に触ったり、植物が成長していく過程を見たり、お散歩がてら檸檬までお水をあげに行くことで、外出するきっかけになり、気分が楽しくなり、癒しになり…と利用者さんそれぞれにとっても良い影響を与えています。

毎日生活していると、なかなか小さな変化には目がいかないものですが、植物を育てていると、『ちゃんとお水を上げていけば見えない所でちゃんと成長しているんだな』と気づかせてくれます。実際、普段はあまり活動に参加できない方も水やりだけは来られるようになったり、皆で成長を見守り、収穫する楽しみが出来たり、“外の暑さ”をちゃんと感じたり…と利用者さんにも小さな芽が生まれ始めています。

職員もそんな植物たちと利用者さんたちに元気を頂き、檸檬に行くのが楽しみな日々です！

“檸檬”を利用して 『さらい工房』

平成26年4月より菜園を借りることになり、土いじりと種をまき育てる、収穫する、採りたてを食べる楽しみをうたい、作業所のメンバーで園芸班を募り、野菜作りの本を手に、5月には6月には何を植えようかと作業しないうちから収穫の楽しみで花がさきました。

月	植付	出来栄え	感想
4月	じゃがいも	○	子イモだが、30個、ゆでて食べる
	ブロッコリー	△	虫にやられたことと、水やり不足
	レタス	△	収穫時が遅く、葉が硬い
	里芋	△	小さいが一口サイズ
	枝豆	○	ビールがほしいほどGOOD！
	ミニトマト	40個	小粒、不出来
	キュウリ	30本	収穫時が遅く、巨大化した
6月	とうがらし	△	
	パセリ	△	虫にやられた
	オクラ	○	収穫が遅く、大きくなり硬い



- ・総体的に収穫は週1回以上、菜園に行き、水やりや雑草を取り除くことが肝心
- ・収穫の野菜は、作業所全員で食べ、新鮮野菜の美味しさを堪能している
- ・秋からは、大根、カブ、じゃがいもの植付予定をしている

「にぎわい&にしよこ寄席」其の4 2014. 8. 30

毎度のおはこびで、あれよ、あれという間に客席はうまっています。

生活・創造・空間にしの食堂に高座を設え、今回もお二人の演者をお迎えして、話芸を披露していただきました。

落語界からは、春風亭柳若師匠がお約束通り満場は笑いの渦に巻き込まれました。続いては、日本に80名ほどしかいないという講釈界のホープ神田松之丞師匠の登場、

夏の季節柄「しんけいかさねがふちそうえつごろ真景累ヶ淵宋悦殺し」の一幕の怪談を読んでいただきました。(落語は、話す。講釈は、読む。というのだそうです。)このときの芸については、後日東京新聞の芸能評欄に掲載されたことを一言添えさせて頂き、小さな席亭ですが、日本の伝統芸能をこれからも紹介できる場所になれば素敵だなと思っています。(松之家 ふくかん)



またまたあの「銀だこカー」がやってきたー!

ソースにかつおぶし、
あおりの、マヨネーズ・・・
ただいまお手伝い中♪



10月2日(木)、みんな大好き「銀だこ」さんの銀だこカーが今年も生活創造空間にしにやってきました!

3回目の訪問となった今回は、他事業所のみなさんとも銀だこさんの美味しさを分かち合おう!とお誘いして、総勢250名がアツアツのたこ焼きに舌鼓を打ちました。また、たこ焼き体験や銀だこさんのユニフォームをお借りして、提供のお手伝い体験をさせて頂きました。「銀だこに就職したい!」なんて声も聞かれました...美味しく楽しい時間を過ごしました。銀だこさん、ご馳走様でした♥

ステーション邂逅Vol.14開催!

2014年10月14日(火)18:00～
アルエム弦楽四重奏団にお越し頂きました。

演奏は 第1ヴァイオリン：堀越 みちこさん
第2ヴァイオリン：本多 菜穂子さん
ヴィオラ：織裳 桃子さん
チェロ：幅 真紀子さん。



クラシックからマイケルジャクソン、となりのトトロまで幅広くみなさんが楽しめる演奏をしてくださいました。

今回は曲解説・司会を堀越 隆一さんがして下さり楽器や曲にまつわるお話をして頂きました。ベートーヴェンの「運命」では面白可笑しくクラシック講座をして頂き会場は笑い声が響いていました。アンコールは会場から自然に湧き上がり、終わってからお客さんが「クラシック」って聞いたから敷居が高いかなあと思ったんだけどとっても良かったよ～」と感想をお話してくださいました。アルエムさんありがとうございました。クラシックファンが増えたことに間違いありません(^_^♪



腹黒日記～黒々なるままに～ ☆妖怪のせいなのね・その2☆

熱心な腹黒日記ファンの皆さんは、前号の「妖怪ウォッチ」についての文章、きっと楽しんでいただけたことでしょう。まだの方は是非、当館のホームページ「生活創造空間にし」にてバックナンバーの要チェックをお願いします(第1話から全て読破できます)。

依然として妖怪ウォッチの人気はモンスター級の様で、今も一部の関連商品はイトーヨーカドーなどで数少ない抽選販売にチャレンジするか、ネット上にて高値で取引するかという状況に変わりない。あまりの過熱ぶり、高騰ぶりに、名前を文字で「有害ウォッチ」と揶揄している情報、サイトもある。

我が家においては、過熱ぶり、高騰ぶりもちろん有害ではあるが、もっと有害なのが、本編に出てくる妖怪に影響される長男の行動である。ムリカベという妖怪がいる、憑りつかれると、何でも「む～り～」と言って断ってしまう。うちの長男もお手伝いなどを頼むと、決まって「む～り～」である。また、万尾獅子(まんおじし)という妖怪がいる。こちらは憑りつかれると、「まだだ、今はその時ではない」と言って先送り、後回しにする。宿題やお風呂は決まって、「まだだ、今はその時ではない」と言っている。先週は嘘をつく妖怪だったらしく、土日中、ピンクレディーの曲に合わせて嘘をつきまくっていた。うちだけでなく、全国の少年たちはきっと、憑りつかれている。

(腹ぐろーる)

生活創造空間にし URL : <http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活 創造 空間 にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町 14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・びーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)